

(渡議員)

Q 給食に一杯の味噌汁を。

A 現状では、2週に1回程度の実施が限界である。

(加藤学校教育課長)



Q

味噌汁の成分は、大豆、麦、いりこ等のカルシウム、蛋白質が大量に含まれており、味噌汁を飲むと食育の点から次の事が栄養的に考えられる。

- ・人間の脳の成長期は、乳児、幼児期に成長するとされている。
- ・味噌汁を飲む事によって、身体が大きくなる。
- ・精神的にもストレスが癒され、イライラが少なくなる。
- これらの効果を踏まえ、将来を担う児童・生徒の為に、味噌汁を給食に取り組むことはできないか。

A

食育推進基本計画の中で、生活習慣病の予防や食文化の伝承等から、日本型の食事が見直されており、毎日の食事に味噌汁を取り入れることは、栄養面等の観点から意味があるものと考えている。町としても出来る限り給食に味噌汁をとっては考えているが、現在の方式では設備・労力の面から、2週に1回程度の実施が限界という実情である。町としては、国民運動として繰り返し行われている「早寝・早起き・朝ご飯」運動とともに、毎日の家庭での朝食メニューに味噌汁を勧めるよう、啓発していきたいと考えている。

(井上議員)

Q 全国学力テストについてどう考えているか。

A 参加する予定であり、結果を踏まえ指導方法の改善に努めていく。

(西原教育長)



Q

文部科学省が来年4月に実施するとしている全国学力テストに対する所見を問う。また、次のことについてどう考えているか。

- ① 町は、これに参加するのか。
- ② 参加の場合、結果の対応をどのようにするのか。

A

本テストは、文部科学省が来年4月24日に実施するものとして準備を進めている。対象学年は小学校6年生、中学校3年生で、実施教科は国語、算数、数学や生活習慣や学習環境等に関する調査も併せて実施される。調査の目的は次のとおり。

- ・児童・生徒の学力、学習状況を把握分析し、教育の結果を検証し改善を図ること。
- ・各教育委員会・学校等が全国的な状況との関係において、教育の結果を把握し改善を図ること。

- ① 調査目的に沿い、町内全ての小・中学校の対象学年で参加する予定である。
- ② 町内校長会、対象学年部会、教科部会等で分析し、指導方法の改善に努めていく。

熊野町の

小・中学校を訪問

(文教委員会)

9月26日(火)、熊野第二小学校、熊野第四小学校、熊野東中学校を文教委員会が訪問した。

各校長先生から学校の現状や特色等に関する説明を受け、意見交換等を行った。また、各校とも、熱心に授業を受ける子どもたちの様子が伺えた。

今回の学校訪問を踏まえ、これからも教育行政の在り方について、執行部に対し提言を行っていく。残りの3校は、11月2日(木)に訪問する予定。

